御筆

加伊

一

瀧流法傘

序

瀧流を面白くあるべき時奥
ふかくこころをいたしおもふ
ところをあるべきたるべ
し道をおもはまほしき世
乃ちおもふをいふなるべし
ものをいふ法を山流ものいふ
瀧流を接しこころ連歌を
こそこそ瀧流をいふ風
な道こそおもへ

三碧所藏

[illegible]
二条院の御歌後撰集宗祇注
[illegible]
と早下しにあれば名
[illegible]
大蔵大輔大神人のやう
に那波を大連歌とふ
[illegible]
那波と連歌のちがひ
[illegible]
泡のことを[illegible]連歌と
いひ伝云を[illegible]

白を那波とふなり那波
とふ文字のいと唐まんよりわ
[illegible]歌経の疑は混
む那波ふるきに一神の
名なりわたるとふ
もを紀要之古今の歌を
ふへ[illegible]の集
[illegible]
[illegible]
く[illegible]波なりと
[illegible]代を[illegible]と
[illegible]京田舎の

ゐるも此序ハなくもあらなも
なかなかも此道にへだつる所を
まへあそびて心をよせることし
しむる稽古にはあらねども
流石に年々ある浄瑠璃
書捨し此門弟のためよ
此一帖をわかちて次第を伝と
徳とくに托らずして次第をのべ
風の書といへるもあまり
なりよろしき式の有なりける
と梅の本のゆかりの人もむ
あへられとおもふは無要也

新式をあらく一座一句九揃
とは二句より七句まで
揃をいふ句より次第に其事
乃こゝろくばりて其新法
を一門にのこさず次雅も有り
あるは和漢のうへにあらず
翔ふるのなわ色をとしまゝ
並びにてえりしらるゝ人
みなく俳諧の新式をもんじて
中々もやわらん淵ひらる
名を付るやとおもひあてる
次よんでよかくすふ名取りあく

そのかみ此寿とふ?ようく
むかしハ入しうこへ君小性とて
見めかたちよく??にも
あらさりきひのまへに
あつかひ給ひしお局わたりよりおも
てうしや入来る九ヶ日ヶふも
ひろくとめもさとかりし
海にしまてよとめりのて合盞
とらめんくさら川岸にあつ
あかしのまへようれとも里
もれうりわすれ君今一人
乃小性ありちいさきさら川
さしわたす人さ海乃おもう
かさやかに夜しゆるのむね
いかなとも入ともいさ一すのまね
経しあめか下に何しかへと
なる人みなもふるまくしに流
まし九ヶ月もろ君にあはる
海さわめわしいう人なまめく
神島に海乃寸なをよく
洲崎乃宿の稲荷祠なれ
乃みくじとも持ちたれる
ひきれしおさめ置るのいふ
事も神に納るやし?へ

ちんかうしかきやくちよ一圖於
里もさ致文篇へ入わ御君字
さへあるゆゑことのたから
かきやうふかれはさしるへ
を絶し文字をしるすめく
きりきかよけまた誹傘を
て急よよみてく誹さんと名
付侍るとなり　一

誹諧ちらし傘

伊

いろは人　連歌一座一句乃
物ろれて誹諧にも
二ある也とし数ありとも
太古上古中古継古近代古
今集などの句も二句君
開き出之て詩いろはへと云
ふよ通ど侍従之古語古人
古方古業古物古酒古名の
数いろはへよ物事へ無きも
次之句志しむりし小ハ二句
去しえいろはへよかゝる大古
上古乃古の字と古代古人

乃新の物語にもしるしたる乃
字の間に三句をしるしたる
乃ゝ字にて去遍へし同云古と
集乃古の字とをいはゝへと
かゝる也古歌の古れ字をし
物語にもこゝ乃こうこゝにこゝ乃八
乃ゝにゝめゝゝ者云古今
の二字は後成へし集和歌
云時基後乃いはゝへ今れと
この葉をとゝ乃ゝ八
古歌いはゝへ云んもあまと
ゝ者云ゝと云後法ゝ
し惟今家ゝきあゝ
ゝ小去量乃古字付
字事ゝへ今れと法格
をゝ乃ゝ者ゝ

むゝ小物をゝ物語るゝあれ
し濃ゝ面をゝ物語
唐 いゝきいゝ乃ゝ物語ひ
ゝへをゝゝいゝゝゝゝ
二もゝいゝゝゝゝゝゝ二つを
ゝへゝゝ寸濃ゝ物語ひをゝへて
唐号唐家唐家ゝ物語
いゝゝゝ今きゝゝゝゝ
磯 二つ今一名磯ゝ物語ゝ

池 毎一名所ゝ一跳ゝ
池二名所ゝ一ゝ三ゝ
池所ゝゝ物語ゝ句
も三句乃間し喜熟池功徳
池ゝも三句乃間し名池
乃池乃間し池乃尼婦池乃

僃ふるく人倉名字ふ小き
いかれ南すれもあらす物なま
も不通無く人倫に沈三句
乃ならし

命

是忠乃哉あるへいのく
一 謝しハ寿(よ)命(いのち)哉語(ご)像(ぞう)
命(きやう)終(じゆう)なとと云小なるてと
人倫命の二句(まん)内に命にて
乃続物を重ねるし忠乃哉よ
ハまての二句まて又意の哉
るへくハ意乃まの続(き)さへ
と命ハ迷(めい)懐(くわい)とするなれ

稲(いな)葉(ば)

又あへし 猶(な)なる
なし稲く云なく
以すよいて一まへし稲(いな)妻(づま)ハ
いなよ物をよみとして稲

三乃句ハいなのかちハ秋ま
ならす電(でん)乃字ふよる哉
小いふに二句まて稲(いな)妻(づま)ら
いな光物をよみて美(み)濃(の)乃
いなてし山稲田(いなだ)姫(ひめ)稲荷(いなり)なとの
類にならひ稲乃字を物をよ
重く又一まへ一ありての
句も穂稲乃稲にいひかゝ字来
無くし稲三乃内に嫁し
稲妻も同稲にゐ中村句
通し稲中といふもしい負(とせ)
多るハ稲うなうしうハ稲にて稲
三乃内にはなりれ名字を稲
乃字に桃とし以入倉君ところ
く去通ふさまし

伊勢乃神

神といひくくいかなる神ぞ熱
田神名帳よ船とくハし額
なるわと無そ物ゝ御さう
まあやまちわしなほよあら
をたよ書し伊勢の神と
をあきてるる神と又一神をの
ゐくくるへし船ゐうも天
照神とあらとをや天照
大神といふへうす赤ちと
いふへし伊勢とふ國乃名
あわをくいを祖父
人名乃伊勢ゐるいをの
いを海むいせあく笠いを天国
乃数乃間おりらよ今さる

ゐ一いをの字一度ゝ二句
乃ふるへうす

いさのゐ

るくく無ゐ
るへうす物
をくく賀乃無院とを
るへし竹乃ふをとあらえ無
ゐとるへうす賀義のいつ
さのゐとしあらハもや無院
乃ふるる歌ゐ名ゐも無院をも
もふいつさの文と漢ゐう
いせと賀義と海されぬや
ふるへしいをの竹乃ゐをく一
賀義のいつさのゐとひふ
ゐ物をへくく無ゐを無院
と物のく漢くおらふふ今一
ゐとく組いつさのゐとく賀義

乃事に御ゝ[illegible]流くハ
ゝ入り可世のゝ[illegible]さの[illegible]
乃文とい法[illegible]ゝくも一ゝん
仮ゝ[illegible]ゝも無[illegible]ゝん
ゝ入り可入い法さの[illegible]
ゝゝゝく伊勢[illegible]賀茂
[illegible]ゝ[illegible]流
無[illegible]の間今一ゝ入へ
入いせのゝさの[illegible]の文無
宮無[illegible]ゝ[illegible]
法神ゝ入ゝ可ゝ[illegible]
ゝゝを川[illegible]ゝさ乃
[illegible]賀茂の神
[illegible]雷の神
入竹の宮無[illegible]
賀茂乃明神[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

岩

岩一巌一石一礫と入て
あり御[illegible]今一勢の
[illegible]岩聚岩あと
[illegible]と二もあり
[illegible]石も
[illegible]
[illegible]
岩石[illegible]
[illegible]岩[illegible]
石亀石[illegible]
鉄炮乃石火矢も石二乃うち
[illegible]石二の間

石義乃數ハ岩三乃門ゟ
岩よの名ハ岩ゟ岩ゟけ
い岩三乃ゟ名ゟしきれゝも岩よ
い面ゟゟへ石ゟハ七句ゟ三句よ
ゟ二句ゟゟ名ゟ名ゟ名ゟ岩む
ゟてゟこゟゟハ海ゟゟの岩
よゟゟゟ人ゟ名の岩ゟ代
ハいゟゟゟの岩ゟ岩ゟ夜舟
も同名の石屋も石二乃門し
石行石二乃ゟしきれゝも石
ゟハ面ゟゟへ岩よハ七句ゟへ
し物よハ二句ゟゟ石菊む同
名業乃名ゟ石菊む同
芽生石ハ名ゟ磯石宮水石
石ゟゟへ石二乃門ゟ
石ゟハ物ゟゟ岩ゟハ面ゟ

ゟゟへゟゟ岩面ゟ三句ゟ面
ゟゟゟよハ二句ゟ岩屋ゟ
岩三乃ゟ組岩よハ物ゟ
ゟゟゟ石ゟハ面ゟゟ
石ハよ二句ゟ屋乃ゟゟ
三句ゟ業物句ハ岩石ハ
ゟ七句ゟゟいゟゟ業面
ハゟ組句ゟよゟへ
岩ハハ人ゟハよゟへく
ゟゟ業物ゟ組ゟハ二句
ゟ石清水岩乃ゟゟ海ゟゟ
ゟゟ清ゟゟ石乃ゟゟとゟい
ていゟゟ硬ゟ石ハゟ
物ゟゟゟゟゟゟ面ゟゟゟ
ゟゟゟ石清ゟゟハゟハ八幡乃ゟ
事ゟ石面ゟ逗坂の関ゟ

もとゝ流れあくもたくみなく
を一座は一句を清あと計い
物をうへく今一句をそ清水
ハ清水とそ河水とも水と
あるを岩橋とも言ふ
石の字は橋をいとくもいと橋と
漬し連方謝潟ハ橋と
ふ句のあまつ岩橋乃附を
石乃字をうくぬ物と云物
執筆乃古実をいと橋一あく
もいく橋をへうへ岩橋を
山数をあるを水を
らさの岩をしゆ数と水也
よあるを岩をあるを
も岩三乃関と神祇と非潟
四角乃字をあの句をるり

あるの岩くあるを
物の事と
敷生　神祇と八月十五夜乃
八幡乃祭と物と敷生
川あくをあるを水をるり
生数を二句を
清をふ句敷生舎乃
らを物をへくも敷生舎
も敷生川をもへりを
を敷生舎をふ句あら
く物をへくあを生あら
物ををあ川をふ句をを
あを連の一句乃物をハ謝よ
二句をを物をくをあふ的く
不覚乃謝潟乃ををあく
乃を事とあ二句ををあ

さんハ後まゝ[illegible]事を[illegible]准之
敷生門とゝ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

家風 [illegible]の家[illegible]の不[illegible]の代
[illegible]の風[illegible]
[illegible]二句[illegible]風[illegible]
[illegible]
[illegible]

家連 [illegible]句の連
[illegible]
[illegible]句[illegible]
[illegible]

家作 [illegible]の事[illegible]
[illegible]二句[illegible]
[illegible]
[illegible]

家と [illegible]家[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いとゝのみ [illegible]
[illegible]
[illegible]

入れ　入乃字あふの字よ二句
あし晩鐘と去ゆ人や
又河ふくめりにしわ又乃字よ
萬乃字よりし連るり
いれく　二ツあまりふ局しいふ
いれし　こいれらといひへく
一律くるとりし字しこれハ七句
あし謝まのハいれこいれらいふ門
連の内今一こへと由ふと句
乃物と次いれくいれこいふら
いふよるとむとい小いう
いりんるんそ出いひへくハ
皆二句去之又いひへもして
欲し欲るとるとその數ハ
字去之又いくといふるんそ
とるんそ示の三文字清く

こまく御詞ハ連り前を嫌ふ
も謝まのハ七句去へし
いれしう　一句乃物と謝りしハ
二句去へし宗祇と
久けたるに於ても東乃宮の詞
あり二句去之
ゆくきん　又り字と始の又も
しまハいう小せん
とざく絵乃句まハいうせん
と畫事去乃好しけ論わ
百韻よ一般物し謝まハよト
乃句を出けを詮くく二まへ
し句乃中まハ秋ありへく
連ゐうしもあくるれと謝よ
も今一く除しうし守いうふ
きんと乃又くしよ一の物を

誹にハ幾とけさりへくいくり
きんちるしせり於ふしくれ
と二句もへし連歌も中乃
句去りハ今一も去そい清連も
折をとり去しりやうに今へ
いくふきんいりせんいひりへく
誹にハまたやうに字のくれたよ
なおし付連にいくふきんと始
乃数をしふ一いりせんとさく
是の数をしふ一いとに二あれそ
誹にハ清連にもしも弟子よ
折をとりへく三去へきとらふ
るへし

いく　幾乃字をとうく替へ可
去にたる幾いはくいふく
ホり付句そうわ通なり

打越を不苦

いくか　日次乃日より二句去へし
多くの月日乃字にハ
きらふへし

いくたび　連にハ句去れと
誹にハ三句去へし

幾よ彼　二句去へし連歌
幾ハ一座一句なり
誹にハ二句と庶去と数あり
いひくも二句乃内さいはしも
折をとるへし

生死よ　命二句去へし連歌
いき死と清く字あり
詞に云小不及いくるといふに
も去あるへしかりも二句去
ともいくるといふに死ある

之相も二句を入へし

いとうたう海ろ　二句を出
海ろ　ぬるふう

まつ海いとうるも二句し

稲書　新し新
い不稲種稲ろ書
きろろ仮書乃字より面と
種新乃字より表の字より
ろい句しろく二句を出し字
新こ字ろろ歳字ろころを
字本笠ろの一切不稲をく
字ろの字をとけた稲字ろは
人海ふあろす女姫ふの文字
ろもきろろ仮稲書句く
郷ろい級のいろ月ろ今一を
句ろあるも書をとはろろ

新ろふあろす
ろひろろは新ろ雷
ろ面を稲ろ

いるひろ　紙ろ雑ろ姫新ろ雷
よ面を稲ろ

夫像ろきろろ仮光の字
ろは面をすろ稲いるひろを
て雷電ろろへろす

衣裳乃文のむ末　面種
袖組織文ろ文ろ
ぬ屋ろ衣裳ろ稲ろ裳ろ御のさ
ぬ屋ろ衣裳ろ稲ろ裳ろ文ろ
ろも書ろを稲ろ稲ろ
いろろす海ろ海ろ
新ろ本載ろも繼蔵の
級ろろろろの西ろ書ろ

糟物とハあらすを也ものの
うつ衣も生数とあらすやう
うくく武国をたちへさものと
ものをうれと絵あくく
第四末乃下に寒の紙をの所
よ糟糀ハ二句ハ塩とい家いと
きしうへ糀うあらすと書
ものして文紀貴乃第五
乃下ハ寒をたをとの和う
二句塩ハ句しくくうきしくわ
貢尾和遠をわ寒山の
私ハうへうへ乃ハ句ハ次紀也昌也
乃ハえちへ乃句しくくう
正代ハ宗匠宗春句う
うちうしたもくふををくく
為次文乃衣をうう

うすくく紙をうくく用ハう紙くく
新武をうくく用ハう紙くく
正代二句塩ハ濃ハ濃ハ
糟とハ句ハ濃ハ濃ハ
糟うあくしくふをうう糟
乃とををうう衣
あくくうへうへ人をへくくれ
ハ糟糀と糟をうくく濃の義
あくくを衣と濃馬ハ
あの月ハやのまの乃あ海う花
あくくくしくあくくの石詞
ををうくくをを句ハ花ハ
もうくしくふあう糟うも塩
まくくきくくのふ人をへくく衣
くくへくあの月まや
をうやくくふ衣
をうあくくをくくふ句あく

し居而うゑ稲を海へうち流
稲うゑうゑ今稲の面紙うて
いひ[illegible]の句ゆへ兎角
句稲小うゑ[illegible]のさ
つま[illegible]稲し一緊めて
不[illegible]海へうゑひをやめん
面めの法度なられし合点
さ人のおゆくい道理をも
法うゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ武月乃ん
よ叶うる人成なし

稲蓋

稲稲し蓋をちさた
ふやうよ稲乃面れ事
ことゑ[illegible]次さにうく
稲ら居而よめうす洲ゑ
三句のむしん乃用ゑ和歌
ゑ田合をさうてゐるし
ちうとゑめうゑ[illegible]ゑもうち稲
蓋川ゑひ御とよめうもゑ
御のゑひさゑゑうゑ蓋の
居うゑ所とうゑ[illegible]ゑ[illegible]れる
らし稲よゑゑうす表成ゑ
田合をうくゑ[illegible]ゑ稲
ゑ成ゑ稲稲ゑ二句海ん
し和歌ゑいゑ蓋い稲う
ゑ所ゑう蓋洲ゑうゑさゑの
居ゑ不入ゆへう形式う稲蓋
稲稲ゑうう戒ゑうへゑ
稲ゑ成ゑしん面ゑうゑへし

いとう

ゑうゑ面ゑ奥をゑ
らんゑうく火をゑく
事ゑ火ゑ七句ゑ[illegible]れも
いゑう火ゑゑれも火ゑ乃用

面白き海士の漁火とし数きろ
いさりの火ともしつくし打をうへくく
漁火をうへしかはいとまなき海
色ゆくもとしをかしく紅ゆくくれ
海こし緒くもも浦ゆくもたく
ゆへよ面白くあはれ
まきられて海人不苫
いろ雪 秋こそあるこころ小雪
をつふ
いとをかしき 幼稚くく
分くもくろ 加り妻の字
いとけなし ひとけな
なろふもの しとふ
魚し

大連小一あまきて 鶴うこ
唐大をくく 殺よをくく
今一をへし 海失も二者
問こ日をんの成 打をうへく
今一をこ 今こ

夜雪をしく 二句を

いとを沈 神祇こ神祭乃
をこ沈を おうり 松行都な
初る日 新時ふり 北と 組
こ歌敵を 新時ふり 新時ふり
しこを

いとゆふ 雪ハ生数り二句
海 今ハきこ

笠田

泉

泉國は非海西黄泉

色

板間

市

市は一名市ノ一説

山市晴岚

市は平篇の中

そのことを云拟したる家にも無理也
ゆるされたる人ハまらう人かん事
なるを草木の早苗にかわ
ゑして付をゆるく見立
とす思ふ句体ゆへなく女
も苦しからず

いもせ　人倫也恋也誹諧なれ
妹せなどゝく名所になれ
妹乃山背の山或ハいもせ山とゝ
とくも指合ときへく今一つをき
なしと縁も恋乃句ならハ
あへしらずいもきゝて嫁めと
ともかくいふ句ハ指合をさへ
みいもせよりかきのつも
乃字無を指入り面を嫌ふと
以ら誹くハ指を除へし

いもの字ハ一座に句数をとり
且く三乃外ハ去べしともを
いもにいもハ去べし面を嫌へ
し

いやしき身　述懐なり　を

今は　かな付句もくるし
くしすらん日と歌のよ
よ悠し今の字に二句去へ
し日字の外の今といへども
まさしく過去をさしても二句
去りてハ不計る表白に
表よりさんよかくわめきとも
続く一座二句別一

いふは　くるしき恋をいふ也
乃字の二句去也

職業 はじめてはじめ蔡
稲荷の祭 二月上申日
氣象 あしたくもれども雨もあし

治

橘 右兵衛督と連よ一乃相ゐれ
し雖ものいらぬまを紙をへく
今一あらんし

蔡 国乃蔡右兵衛督と国
右人を へく 重ねし
百官よ国 御国ゐはしわと
はしくさ 所 友人し蔡 蔡
国ゐふ白ハ 相をを

蔡右ゐゐの詞ハ二文あるを
一ハ蔡右乃事し今一ハ科
人をゐ称ゐも養生のゐ
て蔡ゐゐ詞ハ
国ゐハ付くもゐし
を蔡蔡ゐ詞ハ等
ホ七日 二七日
なわもホも国ゐ不審
蔡乃字ゐ漢よわあを
ゐ詞ゐ二句を人
ゐ文ゐゐ
ゐゐ蔡ハ同ゐれ
ゐハ人ゐ寸似
蔡右のゐ蔡ゐ
ハ付くゐ人ゐ句神を
ゐ字ゐ

葉

極 わかし連歌の一種一句なる
まてし俳諧の二句もとへ
上句下句とくるまてなりへかゝ
しも不苦但蕉風色葉
紅葉ちるの文字ちるの句に
わるし後乃句しの八句の自
分事なられ

表雪 るくの花乃雪今一
連歌もあり俳諧の句

表面 さめくるへ百韵
一巻俳諧の表面村
面こさめおりふしの表
さめと二のるくちるへ

表新 ひえうへるくもるくもるへ一句
俳諧の紅葉ちるくもるへ表新ちるくもるへ
よりるくく今一句をくるる
表乃さめゆるもひ二乃内し

表風 連歌の表風とくと
二人表乃風とのる字
をくるくも二句乃中るわ
但乃文字をるへ不へくこあ
まるの字乃をくくこあ
をへるくさ俳諧し俳諧よ
い表風二表乃風句をくへ
て一句と三句をへくる
ちるん句るくと殺よりむる
三句表るくるへ

いと　上句下句各一つ脚
　　結句の上句下句
いはまほしくも今一くさく
つよく三句まで入しこゝろの
事し

三月　毎一月二月一三日月
一新式よりくはしく
云なくて雅三句乃ゝ
脚の勝月三月なと殺よ
清くく今一くさく雅四句
なわ夜なく同お秋月を
八おくくるゝ
くゝ
海法をいい三夜なく月
乃事し新式をくはしく
ぬ人もなを三日月
なる的一法なるゝ
三日月一なる月二と宮まも
毎わ脚の物乃三日月を
なるく此の春の三ケ月今一
あるこしなる明きるるく出端よ
此乃春なれなる月今二あるし
これも脚乃なる月二おくゝ
ゝゝわ此乃春の乃三月二ハ
なるゝ毎一句脚

三と春　六句去し同云脚
　　結句和漢乃あるく
去脚と云しよ脚なるく同春
なを七句八脚法なるゝ
毛不私云自法不絶法
脚なるの脚法よ春の入

句去ふるき狭にも定まりなしハ
高あしく侍るよし其年宗祇
乃独吟の誹諧をとりん侍ましき
たた流々句去ふくまる侍り
先輩の言らうれきる狭しも定
てははなやかくあり侍るやせ
いふそ体端り出るれ侍

花 一座四句の物るれて誹諧
りハ又句を入さるよるれ
其誹るも四句を許し其能を
和漢りも四句るれとくの
あらし去嫌の大法誹諧を
和漢よ准を許ま座誹諧
まハ花満るまちと教るり
いひく花と面をかへて今一
をへ来るするわとくいへとも
正花又楽まて花乃句ぞ
然まるうさ許ふわれ数のよ
ましあらる句も花四本の内
なり

花ふ桜ハ 付侍るされども
あらる句の正花桜
めきるあるる句ふ桜るうし八同し
り成る重句よ侍桜う花
をいうて付合して次連ふ
まハ桜と花と面をかへて
誹諧よハ七句隔るし

花ぬ薄ふ 正花あれども
雑し

花乃雲 正花ふし 極物るら
残り物し花也
重る可ニ会ふ物乃名り入

あり花を雲と見るも
雲を花と見るもたゞよ
ひの雲とくらべよ梅樹
をひさ樹あり山の梅か
られも桃も形式のごと
くなり

花乃滝　ごく樹樹よこの白山
数多由よりも三白滝の滝
なわ新式よりハ面白滝と
ゝを云物よ花乃ちら
樹を以へもハ樹樹のく
ちわるわ面うふ文弥
流のしとちもみあ
なる所義るわさいと
花乃雲ちよ滝

あるゝを云義ちわし形式
波も浪よ滝あるゝを義
ちわるるにゝ樹をハ面
面白きゝ滝といのくるん
そこの花乃滝ちわを
水辺よ滝まのしきと常よ
小流愚なる流し形式
混合をへさ物をハ面方よ
滝ゝ不混合ものをハ面
ハよ不滝ゝとうきゝハ月
雪月乃雪よ夜乃泡へ
ハ滝樹ゝへ合すとおせち
ゝ水ゝ水あゝへし物
ひ花乃波花乃滝ハ六ケ
変樹ゝれ形式もて
水別一樹と一ケ条ちく書

玉しゐ茅と紙を作るこの国ひ
ろうよ誤作まつて今秀紙
的しく記しを作る花花
滝と云ハ滝乃おとく故も
をも又花乃ちら定く故
ゑ滝をも又花乃中う
故ゑ滝をもゆうう
山猫咲初しうう久咲花
雪井よう面う滝乃白糸
毛ハ故ハ故乃ハもうさ
う花乃ちうと花乃滝と
ハ一筆ハ
さうハうう
ハよハうさ滝乃
角伝句神ニし

花乃波　西ハ波し水辺う
三句し但て後句
神波乃ハ非西花白浪の
うよ波ハ
神神ハあうすハ

花乃雪　西花し神神よこ
句ハう物よ水を
雪乃花神神よあうすハう
神し

鳴ハく　鳴し鳴乃字ハ
ハを鳴生新よ
二句鳴の字ハ三句風神
う二句ハし鳴ハくハ
う鳴ハくハう

春風　共一春乃風一組不変
ハ句に
ハ乃ハ

二ハ月三ま[illegible]ん梅うと殺よ
うくいと一あうし

春乃日　とうふ句ばかりさん
あうしまうもうれう
永久日を経ぬる日とへう
もと

橘姫　姫人編姫神職一名
思しりぬるかしこう治よ
ここうあるし姫三乃関し

花を踏ふ句ばかり　雪山を房
ても踏よあうすたうひ踏
とうふ字入ともうす組
あひめく花を月ふる神
うもう踏し

花　殺句紙半月三まてい
ふ一字句めしめうり面八句
乃るうをあ事をあ事し又物形
い姿ト句めくくもくうう
うう寸人独吟ふれた十三
句め字ばう雑まうう屋うう踏
殺句紙半月三乃外八句表
関をあ事とうふ法変も
笑い法くめくもくうう
花と

花雲　とう半しも西花う
放るう

花乃ちるに　橘乃ちハ形
を梅梅を梅梅
梅梅紅葉末葉乃ちる
い面ちを梅ふ西法雲うの

ちるい之句さし

花乃ちるけい新しと

用るこの形つるい結くもく

ふしゝ今

花乃ちるけい新しと

説あゝ花のうけも殺ケ

もこれ法乃字し漢ゝい

花新なゝくいゝう

花のあゝ

あゝ今

花乃郷 正花し種相ゝう

連ゝ乃ゝい表乃

表よ用ゆ表句新ゝ

ゝ新ゝ新ゝ花俳

中花ゝ殺よゝくい詠

雑しゝ附ゝ正花ゝう

種花よ二句ゝ同ゝ

ゝゝ花の郷ゝへし種

相ゝ三句ゝ種ゝ正花ゝ

ゝ程乃相ゝいゝ表よ句

へゝ義ゝれゝ連歌俳

諧ゝゝ花乃郷ゝ

雑乃句ゝ家附ゝ新よ

乃理ゝけく雑ゝし

雑よゝ俳し雑ゝ

句ゝ

花やゝ 表云物よ表ゝゝ

やゝ

ゝふ説ゝ 二句種

ゝ物ゝ

なし然しなからやりといふ詞
正花なるべし但し依句
によりて花やかといふ詞の
こゝろはやう彩式によりけまし
もちゐらるゝ安云の説のこ
とくなれし正花に嫌ふ
しく表よりは植物に二句
隔べきしるやりといふ詞
なるものとなりとも付くべし
正花とは然まりしきと疇まし
と花こしらふ詞とひとり
いはれし正花になることへ
ふも一義りらる営業農
字なれし花乃字なるハ二句
去し然こしハ一字なりけれハ
花乃字より二句去るべし
し二乃詞ハ雑になるへしされ
ば彩式の心花は花に准し
て表に可用致すべし
依ニ句辞ニ正花にも嫌ふべし

ちなくし　あまきハ花乃字
　　　　　これも梅の花
菊乃花乃類にてハ二句去べし
植物よりハ二句去るべし正花よ
も嫌ふべし

花のもとゐ　花乃類花乃
　　　　　　まそハ家本
乃花乃上にゆるなるとも植物
之正花之表にあらされハ花よ
あらくへらく人ゆかしへの中ま
正花之表之植物にハ二句去
るし無きもなるなるべし

是ハ花乃姿ハ正花ニハあらハし
表にハ於色ゑ寸花の姿
花の数並嫁花聟花乃
忽んなき人乃ハ中々に表さ
取へ入ぬやうしともてやり出付
信達花齢式乃嗣の花よ
き稲の花をも表にあらずと
云ふ法んきをよく家寸
是とし正花りてハなる修花ハ表ハ
いぎらへりて次間云嫁稲のむ
表たりぬ寸ハ花の姿も
聟ホも清うをも稲ぞうれを
表にかの次とくらふ書中の
徳書正花をも物へさ道
理ならぬめの善云嫁稲也底
ホ花乃と又いふ乃む信乃む
ホ花乃かも花乃姿花の忘ん
乃数も少を稲とハいふ次間
しやうりの事さからよく
吟味をされたしうらめ待そて

花衣裳乃後也の袖

正花ハ種稲にハ二句ハ衣数
ハあまつうるき紅花かくそめ
ゑれたし離ゑるへられと只
わの等せみく表乃也よたと
へゑうハ箱よ花宮たのく
徳く花りんよまる人をむ
乃袖ゑゆくうくろりしも
よむ事わをてて徳を
淑しの本書もるをわ
まくいりかてゑもま

きよ[illegible]人を花の神義
乃なるべく[illegible]
雜[illegible]へよ[illegible]
もの[illegible]
[illegible]もの[illegible]極を花[illegible]時
乃[illegible]ふん花ふきうる
神[illegible]もあれ白神よ
[illegible]の義[illegible]
[illegible]連[illegible]
乃神花の[illegible]花[illegible]乃[illegible]
[illegible]の[illegible]花[illegible]
[illegible]人倫[illegible]花の[illegible]
人倫[illegible]花[illegible]
[illegible]人倫[illegible]
[illegible]花[illegible]
[illegible]

花乃[illegible]
人倫花を[illegible]花を
[illegible]人倫[illegible]

花乃富　[illegible]花を富
[illegible]乃濃[illegible]
[illegible]花を[illegible]

花曷　[illegible]花し種[illegible]
[illegible]種[illegible]の理富[illegible]
[illegible]
花乃神[illegible]花やう形る
[illegible]の[illegible]
[illegible]花[illegible]

なとこれ事もこれ乃事
なれもせんにくむつう
正花よりうへハ言と種
種より二句あるへし

正乃句 正花より姿と種種
衣数ようち紙を種るわ
あるす天変と
花乃句ようハこ句ちしあ成
くこ海ちう種るわ

花鬱 正花し種種し言と
菜の湯の花へよ
もあり又湯乃樽を入とき
それも時くの事ハ乃花
をもいうと取より篭の名ち
れた表しも種種しも用り
有和ようち天変ち

花ち月 同句

花四 言と正花し種種し
天変し花四より樽分
ち言ち寸花四ハ分へし
それも天変ハ鬱ちハ不正分

鬱町 雅正花鬱の事なし蔦
義なし句ちち正分

花蕾 正花と言し蕾と
言ち月ハ花種種
より二句言し花乃字ち
毎言と三句言し花乃字
ち言ち毎れと三句言し又花
ちのち言ち名不もわ信句
種正花ち言も種種ち言も
ち言へち波乃花乃花蕾

い義経記にこれを流れの[illegible]
離し極楽寺[illegible]
いと可い[illegible]
非二若干一能人編

花車 正花[illegible]
乃[illegible]

花軍 正花[illegible]
宗と[illegible]楊貴妃[illegible]
[illegible]

花山 花流[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
去婦[illegible]
乃[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

非公儀也

花の香　種乃香人がをくよ
遠方よりの香を嗅へし
漏洩するいとまを嗅へし

花の旬　ふかくしらふよ袖乃香う
漏洩するいとも旬を人へし

花ぶち　儒者乃盛の中く
まるくしくしく物
道乃時ちらさぬ陶とつふく
正月表餅よ義理ひとと
てあるあまとまあるよ
ぬし正花ともぬく傳れち
次い正もしいるれ表ち
ちくすと知ら句稼よ
ちくへきこえまちの色のえう

花小右衛門ちらる嗅

ちらぎ時よ花い不若義よ
ちくぎの瀬野紅葉よ弱四月
よ文級同お内乃箱
を付ち同ちる表ちし後う
鯉を沒乃海よ鮒ちも
付ちきちや言ちを法
紙不審しひまの事い形式よ
ものを次いはまの宗匠の
ちくともきちの
ぬあるひちるぬ紙ちる人
いおそくくい稼成ちる共
ち細ちもくしられを変よ
ちちくぬちあくんまあけち
表よ右衛門紅葉よ三四月

よ 嫉妬 をかをしをを
ぬとんの絵へしひかい付
合よゆもくるかすを
まわいさるるきるのるる
白山とつふのい雪紙絵へる
を雪るる白山をも絵へう
紙を酒雪乃白紙るる
富士い雪よ絵くも雪紙
付くもくかしるすを
ふゆく自余れすを多制
るへし

花るの粗玄 花と雑し 人倫

花田 正花よわるすを人倫
乃るるわくるめくるる
雑田歌乃歌とりるとをにをる
花るれを秋るいるるる
雑し雑花るも衣類るも
あるる次

餅巻 正ふしみし雑よ
二句し

花るの花紙 むこ 色し雑し
人倫し雑花よ雑と表小姓と 花と花し
花るのるき 正花を花し玄
花るある次 雑
もの花乃字るる
きるる次雑花よも
るる白紙花乃字るる

正花ともなへ一種植う
も二句まへし

もゝ桜　花乃字より出る
なり巣より南方
はし

花へ花親　正花を指し
花雪花の目録に
も種植うも有し

花素蕊　花乃絵あり
かをいろ
ちゝうへ絵より素より推し
て種植うゝ素蕊
をいうもし正花うへ
正花うよい種植うも二句
ちゝうへ次位
ちゝうへ種植ふい場へうす

花うりか　新しく正なうも
雑し正なうも
もゝ印しうへうの

花下る　非正花素よりあう
ふあうす
すゝ花とゝ字よりあれ
ゝも種植よりあもうう次

菓のゝ船書　菓ゝも花し
さけ花ゝ花と
ゝいうすゝ花のゝさの花
やうかゝ紙やゆへよ正花を
ゝも植し種植と雑し種植よ
きうゝす

花紙　花乃ゝ
花し正なゝ
種植し

とうもろこしの花　正花を指し　雄花ともいふ

雄花よりあらはれる

花穴　正花を指し　花と穀の間に新らしく

雄花よりきたる

花のうちを　正花を指し　まよ

あるすう生穀

あるすうへものよりあらはす

花つまと花　正花し雄し雄花

小二句言へし

繪かゝる花　正花を指し　雄花のうち

あるすう言し

花のうち　正花し雄花し正花

なり

花のうち　正花を指し　雄花よりあらはす

花うら　小穀よりあり　正花よ

雄花よりあらはす

すべて雄花よりあらはす

花を嵌　正花し雄花し

種乃花を　正花を指し　雄花の

るけまと言ふ　言ふ言ふ言ふ

まんあるまんあるまんあるま

なわ玉に似し植物なり花は
みよの花の乃様帳幕のごと
おもたるを分めるく花をつら
次とつぶも同おなじ物乃もを
ふつ次い玉よりあるく次正色よ
もるるなう人物ともあるなす
物乃ゆ
花乃宴 正色し玉色し植物し
玉乃物のえんとく
玉乃物あるもも正色し植
物よあるなす雑しりんめよ紀文
婦のるし

葉宮 葉の葉竹の葉ホ
ホ葉の匂もめ出動
武り一産四匂の物乃ホ
おとわるいるいえくと

物のよもむ匂もも海しるるく
一産よ匂あるるこの葉と
おとの木の葉乃るもの葉ホ
も葉一ぶるるくく葉葉海
葉るみち葉ホ乃事し
るる海を物武をるくんの
るわく連奇郎はび葉を
ぬちる人の物乃葉物乃葉
るとるの木乃葉いるとんの
て一葉葉ぶるるくに面を海
とるいおせるるるれを代ホ
雷しく物を海る絵るふ
流を用木るるれくく
ぬ乃あるる木の葉とるるく
るるくに物るるゆへみる玉云
物るもび四乃葉いるとさ

ぬ木の葉とも和歌よ
ゝ詠ん葉ハ松乃葉ハ葉ハをおりて
とゝ詠ん詠ふ人ハ詠ん詠ふ人ハ
詠ふ角ゝさ事しゝとゝ詠ん詠ん
ゝゝ詠ん詠ふ人ハ乃間よ詠ん
ゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
乃間ゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
葉とひとゝよ詠ん詠ん詠ん
も詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
新式よ葉乃字ハ字ハ字ハ
ハ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
ても樹木の葉ハ詠ん詠ん
さ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
の葉ハハ詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん

ぬ木の葉ハ詠ん詠ん詠ん詠ん
葉ハ雪ハ乃葉ハ葉ハ詠ん詠ん
云乃葉ハ間ハ詠ん詠ん詠ん
三句ハ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝ乃葉ハ詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝゝ三句ハ詠ん詠ん詠ん
ゝのハ詠ん詠ん詠ん詠ん
やゝゝさゝゝ詠ん詠ん詠ん
ハハゝゝ詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
ゝ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
三句ハ詠ん詠ん詠ん詠ん
詠ん句乃間ハ詠ん詠ん詠ん
ハ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん
ハ詠ん詠ん詠ん詠ん詠ん

[illegible]
葉ハ長し松竹のなら葉ハ
離しそれも又乃宮あれと
松し葉乃宮の葉三句去
[illegible]

長乃宮　長宮殿乃事し
[illegible]

[illegible]
長乃宮ハ雑しよりの句ハ雑し
長乃宮とてふの句ハ[illegible]に加し
[illegible]

鶴　此一名鶴一樹一浪鶴一妻
[illegible]
[illegible]一浪一樹と云句の鶴と
次長乃浦鶴とあれとも
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四なり

溪底　りくの底なる歩行を
通今こと句なり

ゆくさき　共一句なる一脈なり
いかなるよりいまゆくさき
ゆくこと句の拍子なり

初瀬　山よりゆへの山影も同じ
らせ
初瀬も　山よりの川もの綱も同じ
らせ
ものをもとめ　ものをもとめ
ものをもとめ　ものをもとめ
ものをもとめ　ものをもとめ

[illegible]

初霜　梅しらかせハ雖し

初嵐　萩しをれる[illegible]青り乱霜

八月十五夜より風波を

[illegible]

原　杉原藤原小菅[illegible]

又白二形式乃ハ原の

杉乃原[illegible]

乃宗遠原[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓮

小漢くも同名の蓮葉
も同名大漢の芙蓉名
同名蓮の実も同名
つ人あわ不用と余の菓
子のことばかりく花と共よ
蓮ハ実を結ぶものと又蓮
肉と名付く業種りと
ふ屋うの白神りくもあ
四すあり寸種粗よあり寸
変よあり沢雑し蓮の実乃
花ハ秋し又地法蓮花と作
常り沼りくもあり
り四よあり寸種粗にあり
毎こ人変りくもしる花名人
乃名よりと蓮乃もよも雑や

[illegible]の蓮[illegible]乃
和府蓮同之蓮葵王蓋の
[illegible]同[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

蟷山

[illegible]山乃蟷[illegible]
[illegible]蟷[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

連は二句
俳は三句もあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多肯の字をみとめられ肯
て風雅より二句吹乃字を
二句きゝ有るの雅吹るを聞く雅
きゝ分をよみ有るを雅の字
二あり有る雅有雅おもん
生数有る雅はひかり赤
きゝ〻〻乃字雅の字多くし
有るをさ雅有れて面白い編欲

腹赤贄

元日ふるきゝ
肥後国宇土郡
長濱きゝ有る鯛を
腹赤きゝ有るを京都の御時
きゝ有るとこゝ日の鯛乃ふい
有るハ聖武天皇に奉る
初鯛 きゝ

きゝ折 きゝ

花きゝ有る雅 きゝ

花よ為葉を折ふい きゝ葉
きゝ

きゝ有る きゝ

きゝ有る きゝ
よあきゝや きゝ
きゝなり

[illegible]の[illegible]蘇家 [illegible]
[illegible]
[illegible]
源蘇 [illegible]
[illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

篝火 祢ふの名を者ふし
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶯を代月待乃羽とをり
えれあさ海し家流なら
古きのよ打りい續くら川
くる家あ代し未代ん風俗
ひ[illegible]よりも所田へよりわし
き羽をしの紀羽と為ひき
羽をいやしふくへ初くへり
古きのよあ所羽ん始ふあく
ささくもぬと之の通不和鶯の
人者子等ハ人ハよ月へ[illegible]
又鶯古音流乃ん[illegible]鶯を
山天敷し鶯打も鶯打実
くげさのるもしもふ鶯の
宮くくけよ面を始ひく
いけくもくふしふくわく
くくよりあを流をる

くくの[illegible]二句ちし
又鶯合い者ふく あくすこ
月くよくる者よ去ち故
くふ鶯あくりあくく故苦舎
ふあくすく[illegible]
月くくせるあり礼祀
くもひるあり系くく
いけくもくる日な鶯く
鶯あくく重へさ鶯くく
も乃鶯ふ乃馬ふ鶯
ひ鶯のもくても所事
るれしふくる新ちく
くまふよ鶯を始へし新
ふくも生鶯くもあくく
とり野ひ鶯鶯去ちのく
三句のあくく

贄（みえ）　生絹よ二句をし贄と
ゆハ間童裏又祢祝のうへ
生ゐうゑ〻ゐ〻ゐ〻ゐ

ゆを物乃花　あるる面うり花
　　播磨しゆ七句をへさし
　　句をへさし
物乃歌　物を過こと丸
　　も面とうへく
　　雪物を過
　　雪みくへ
　　乃雪みくへ
　　うへ
　　うへ
　　こと
　　こと
　　こと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一百ばかりなる物ども
あるべし
もと文芸書籍
よりてうんとしてこの物
花のもとをかをり物
強よる花より雅しく物
ゝかあらゝ絲ともまた紙ども
なるべき次位各のこゝろ
ゝそのの名ゝ
なるべき雑ゝ玉へ
もまた一座二句乃間し

郭公 連句あるよ郭公一種時
あり 鵜鴒 ゝとゝく今一
くゝ牡鶏 紀或し
さゝらのあ代さうるひこく
名ゝ玉ゝ三句ゝ
いたまも物をう物ゝ
郭公花より結ゝも夏ゝ
より結ゝも同ゝ

蛍 和歌水色よあゝ
鵜鴒 一句い三句ゝ位
久をしてゝ
もゝ所ゝとく二句
坐二句乃物ゝ一
不篇ゝ物ゝ
乃ゝ二句ゝ位付句
ゝ花ゝ
ゝもゝ

わやてゝる 和し 経源のみさ
山ゝ七月廿日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

へ文字 [illegible]

へて 手をへて糸をたくるとてふ糸一
杼を掛へくるれ同じくのの
あたらし

虎 とらの字 一の相あれ
といふ 熊猫なりとも
一産に二ハ子を産し海しを道理
とらの車とのりの先
とらのつの相ふ付くるし
連りの事を出すと明ら
たるし海しの虎あり
[illegible]乃年寅乃日寅乃時

とらの海乃物虎人名れのお
虎大猫のとらの虎もの
ら西いとらの系統虎の尾若
猫なりの獸とらの獸今一
とらへし虎乃皮虎豹とふ
世詩虎猫竹虎閑虎 騰
なるの獸ハ生獸の虎一の門
なり

豪 [illegible]
豪も和とらの若而とらの獸若
とらふ説なる 但非和とらの一
ふハあり寸連ニ豪ハ若而
乃豪と名る獸乃豪と二あれ
とも熊猫ハ若而乃豪一名
に一とる相とる一ハ一産とる三
名とへし豪とく教よりこ

てもこの句の関し居あるなり
しかるにこゝは山ひこの
ゆへさやうにあるれしあるかとそ
乃ち句こゝ又居上云に如来
下吟来下るとあるか居る
う二句し色も新ふうもし
あるに次句こゝ句乃関と又産業
のゆゑの間来ここ来あ来乃花
来の無相を来性来うんる
こゝ人居寂寞ふうあらされ
新ふうあるふうあるふうあるも
皆三句の関し我乃来あ四
し居不新ふうあるに次句神
ふうあるふうあるこ乃関し
洞代乃来あ四し新ふうるり
居不は二句乃ち半新ふうこ

句こ来こ乃関し賢ゆへ乃
来居居不し新ふうにあるす来
こ乃関こ来こ乃来居不し
新ふうにあるすあまこくめく
人をのをくこゝ来ふ来ふ又
来の面を注あるもふ津
ともこの来ふ来ふ義あまこも
来この関こみこゝふこふ祠
をめるくこゝ居ふるふても
こ乃関こゝこよゝこゝくこゝ
こ来ふ来乃ふよふあふす意
乃ふをうけし各別乃ふし
編ふふくこゝ来ふこゝあの竜こ
こふふも来こ乃関し居あよ
二句こ新ふこ来の山来居
関ふくこの来ふ来乃来ふ来の

字よりの面にかくべくみある
たもちまもるもあるべし
るるるるうに仕立てるる句
るるるる一座三句の内なるべし
赤ことゆうとは物をえく
るるへさしえ字のいはるるれ
るるも都るるるるるゆへとこ
三句のかるは結るるさ
るるに居おるもあるるるか
おるこるは二句るるへしゆうよ
はるとるへし続るるるぬる
赤赤乃赤るるひけるも
人倉赤一赤関る居おるるる
二句都るるも二句さるへし

なるおよ赤るるるるるるる
赤るるるる寸

どうらひ　呉一句乃灯一句の
灯一組灯るる
ひ赤よ都るる灯るる
仏行燈るし都燈前
一るるるるるるるるるるる今
ひをるるるるるるるる灯るる
同るる行乃燈るるるるるる
行をるるるる赤居るるよ和漢を
赤燈をかるるる行燈るるる
又仏赤よるるる赤燈寸二
燈る燈乃燈るるるるるる
灯るるるる句燈るるるる
燈乃乃るるるるる燈の赤よ
ひるるるる都るるる連赤よし

以上と理よりの[illegible]れし祇園の[illegible]
[illegible]にあらず[illegible]
も祇園[illegible]
[illegible]所[illegible]
[illegible]
[illegible]

い鶏なりあるとハあまたとも
元ホと落ちるなるるるにより
各おのの多しとハいふるをもり
多るとうふ句ハ雑鶏(かも)ことこ
うけるとの一功(こう)の名なる付て
もくしうしうすとひよるる
かうるいうるるるるといふるる乃
字ハいふ乃乃るに文句ハるれ
し鵜潜(うとう)ハ二句ハ句ハ一るる
兼ハ鵜生(うせい)類(るい)蓑(みの)とうけて
るる乃字もも居乃字ものも
二句ハくしくの数とうふも
元乃字ハ三句るの字ふ
ハ二句ハし句ハ獣とい禽獣と
うけし二句ハ一句ハ亀ハ字ハ
四句ハ亀ハ三句ハ亀文句
より句ハ面を塗ハさうう
云ハ扨ハあまた誤し名る
乃数ハしく亀ハ一宿る
句乃円しハ形ふしるるの
ぬる称ハるるもも同名称る
乃称る職ハ称ふハあるも
るのあと無名ハるし句ハ
問し居ハ文字の美名るれ
し生数ハうハ鵜を外を
ぬし多る窠(すだく)稲(いなむら)ハとも
云名の多る文ハ問ハされも
人ハれるる生数ハきう
しる多る問もこの同一文句
乃問るれも後人ハるる
生数ハあるすされる生類
二句ハくきくこ句ハるる

詩解をえさせられて作
者のこころの次第しを地乃句のうち
も難をえらすといへり

戸字

とかそ實戸若戸
なとの字は形をうつす句
形式めいて句の柏と寄
脈絡はハめでたく乃字数多
ふるそも句の柏と知へ
言葉を物云ふ言葉
あるいは各の柏事も無事
誤しあるはよあらさるを
戸乃内はあらすといふ
宝の戸も居ねはあらす
それは也乃ゑはもへな
やはり詮天ゑんも脈はい
又ゑん内ふ戸作
も戸口のゑんと連ゑるる
きわ居ねはあるは二句と結
つまも誤しゑの字ありと
て戸のゑはもをあるる紙
形式の戸乃字乃下ゑ樞
實戸若戸と書せわとゑ
そゑひらゑ口作ひこハ同
居うの柏なるたゑ作計
と口句のゑふる居ゑ
も二句をといへるは人表
誤たる形式屋乃字
むしやい躍の字ゑ也もの
ろく柏ゑといへるもわくゑ
ゑ作もとゑの乃柏ゑ居ハ
形式乃ゑんを和さ作ゆ人欲
脈絡をゑ作もゑ乃戸

乃間居不ゝ
塗へさたわり水戸川ゝ流
戸ホを門乃字ゝ水戸乃字と
も出ゆへゝ
戸乃字ゝ二句云
云物戸ゝ書ゝ
い流ゝも面紙塗ゝ云ゝ
大ゝ所誤ゝ
ゝ紙ゝ
物乃間字ゝ
ゝ入ゝ
ゝ紙乃字ゝ
ゝ宿ホ
ち紙ゝ塗へゝ
ゝ間ゝ
ゝ
ゝ

戸打延ゝ塗ゝ
ま次若ゝ云居不ゝ句ゝ
ゝ間物ゝ
ゝ合ゝ
ゝ流ゝ
ゝ居不ゝ
字ゝ紙ゝ
ゝ間ゝ字
字ゝ
ゝ居不ゝ
付句塗ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

あまつ奉の御唐櫃たり
さゆへ酒のあてはまを厳よ
おろまきるるさうにわく
上のうひうの肉よ蓋とるか
酒のうれさうてよ戸をとふ
いつら強世日なへまうあろ
書乃間よはまきんうすとい
ろう通まは戸い唐ようく
酒のひものをい大蓋といふを
相乃なりまうとふ戸といふるる
ハいまうこんあうう涙とうつり
ようこれをもあまくを
あれ書よわ日なようの結さ
酒るれも酒呑人を上戸よ
きはのひん人を中戸えの戸
はもの毛を下戸といふ酒を

御酒ようも戸乃字よい
あまこ花文まを間よあうす呑ふ
ようもあうす戸乃字よ付く
もうふし
戸るうう教よ漢戸乃字よい
三句毎へさし戸郷尚書い
解宮の部名し居ふもも
あうす戸乃字よ間ようもあう
すう戸乃字よふ付くもうし
うするる戸乃戸とれをノ
文乃間し居ふし民部ようし
てうふし

鶴と鳥と兵鳴乃字連よ面
謝ふハ七句毎へ
くよ乃乃るるくとりの新し

鳥帽子の小 種乃ゐなかこと
ゐとゐ対句と雅と
連よあり雅も同
雪の雅風 風雅と風雅よ
三句雪と雪の
雅ゐくハ二句と雪乃雅てさ
ゐとゐ雅風雅
雪の菓 雪のたの菓雪菓
さえん法の落雪し
雪屋 居所ゐり三句ニて
ゐさハ二句し雅部
芋も藤も嬉くとられて
二句し非ゐ思ゐ若ゐく無る
とゐふよ嬉り相あ〳〵
雪屋初雪 変こ雪のとゐハ
雪屋初雪 雅句雅句
雅ゐの雪ハ秋ゐ物雪同
お

雪の時記念 雅部ゐ時の字
ゐ
雪月花中原日記 又記の章
し時ゐり又日ゐ紀よ宴の字
とゐよのゐりこゐあハ句
雅よりハ法華の若云を
もこゐのゐりといへこゐよ
ゐこゐ句もゐこゐへ〳〵若云
大法ゐ若時乃若云雪月
とゐこゐ若法ゐ法代
乃始の名のこよれゐわを
大雪年号ゐし毎年時ゐく
ハ彩雪号と云ゐ雪ゐ
ゐりと法ゐ国年のゐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]句海[illegible]二[illegible]

[illegible]

[illegible]句[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりあるを海の
藤乃句ハ舟ハ
あるを船をと
ぬ事を新らハ
ハ藤波とあるハ
乃事ハ松をと
乃をもわくハ海
ておわく玉ハ
ハまあるとと
はるハいるハ
蓋もひとハ
をしむハ
まともうの
六ケ敷
ひとく

波ハ

ハ
あるを
ハハひと
宿へを
乃字を
ハを
唐ハ
乃を
しハ
ハも

ハ関
あを
ハ
ハも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一文字乃字ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多種

名前付へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紙乃七句きこの句物をこのう
竹田の舟渡りとあり
新式てもてもてもて

散乃字 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

連ハ一座二句捌ハ[illegible]

[illegible]

人倫

[illegible]

人倫なくハ人倫なくしてハ
ふ朝も新武ふ朝も新
武を續人も新武乃ふんとく
ちうなゆへよりの縁ぶ
あきあり憂ふるまんこと
へと歌あるもしとふと歌な
しといふとうあるやう
きうなと人倫ふ人倫をのるへ
いとう家なふ人倫をのるへ
こうや縁こうなる別をへ

なるほど狂　二句きいふ不道といふ
凡今の楽ふく蝶多のある
をふいうこうく者ふ
人倫なるふ云よ神とふ
ふ句ふ句の句神ふう
句ふさふう

なるほど蓮　ふ二ふり蛾
ふふなるを物を
ふくくこ句ふ

なるほど神もすそのそ
蓮ふ二ふ蛾ふ句
ふくなるふふ
きくくく

なるほど袖　ふ二句ふ
乃作歳ふ句ふ句の門ふ
ふくくくふ

布ぬるゝと　水色ふかれと
も曝さとかゝし　雪あも日よ
ぬるゝと　ぬるゝ　ぬるゝ
とぬるゝ　とぬるゝ
二句ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝん　ぬるゝ連ふ二あれ
句ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
句ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ連
七句ぬるゝ　ぬるゝ

ぬるゝの　二句ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ

ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　二句ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝん　ぬるゝ　ぬるゝ
影ぬるゝん　ぬるゝ
ぬるゝの三字ぬるゝん　ぬるゝ
てぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
付ぬるゝ　二句ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ
ぬるゝ　ぬるゝ　ぬるゝ

如月花

只一句の一挑燈なり
女らうそくを殺
ふいのく物なり
うへ今一句
うへしい作意も無なよ
いわなを下蔵たゝ男なり
らうそくもあり物も女
良花二句乃間なるへし

影

新武小一発一句のあよ
おさらとゝいへ百韻連句
まへ次句は一句乃物し
連句なり物なし線香
挑燈いもよ来やはさ
物を来すすまて百韻よ
影も影神も一句あり
てわなをへ影ゆり影あき
生鮮なりもあり影神
いひく神紙もあり又
面をもつもあり影乃ことと
ふるあわ毛ハ影乃字よ
あるへ小兒こ出こ小兒
衆の家なり
小兒こ出こ
うすす影風こ人倫ハ
こいなもこ物なり二乃間

女

女をこいひくも只一こ
子句は一句の物なれを挑
こくも二ハ女こへ女房
女性を殺よいひくもこ
うすし四乃女ハ
字を物性めこいひくい女よ
面を場へ女なむい人倫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小野

[illegible]

[illegible]

二瀧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

親ふる　二句　父母
もゝあるうち孫うち
ちをふも因ゐ児をきう
[illegible]人親とる
おるし親より筆あうれる
ふハ付くしかしかさ
ふう但親と文字の因
[illegible]

[illegible]

親しらふ[illegible]
あるうふ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

段張を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しき暑の祝を添まいらせ
よ御くに家くに家ひつく
なりしなりもむるの祝
を如へと始み御ふ

和

為業　あ一ふくに作まる
雑しよハ形をうへく
業の字今一ふくへし業つ
こハ業し業の花もまこと
業業ハみなくし業とくろ
ハ雑し千業雑し業る
業留業雑事業合業
汁当雑こまる業状し業
乃くちハまくし張業ハ濃業
まくし業業ハ雑しハ作まこ
わくも一産小業の字二
と丁この祝雑業汁きい
湖業みし形業みくそて
形をうへく今一まへしを
少へいこハし声みめしまこ
ものうへものうもあ
祝をまる業乃事しくも業
えの汁きハ乃ものの乃
祝ゐれも業二のみとこ一
まくしさ雑業文字同くれ
を形をうへくくう
別意　二祝作ハこあり雑
ゐるれこ三乃内くこあく
もくみ作意ゐるれくもの

乃文字いろ付ハ三句乃外
なり

歌仙海

表乃ハんを国事と
新式乃文言と
新式ハ下ハ略新紙乃下ハよ
くのみとしを表ハ人出ん
まつ表乃初と表ん
海しハ初紙を略しらるゝ
ハくいあるすとれて表乃
ハしらふ句よ表乃海ら
ふ句ハ連よ紙巴みとハ面
を略されしとし紙ハ飛ら
ハ七句ハ今新式ら
うら紙略ふとらハたのハよ
表乃海らとら句れ事しり
表乃紙ハ海と略ハ紙ら
ら表ハ

歌にさるく

連ら面を
略飛らハ
七句ハとも表ハ表乃初し略
乃ら紙ら表乃ら表ハくら
二句ハし

歌ハ句梵字

付句下略
紙句ハ略を
てもくハし

別ハ錦

表ハとハ表ハ
と表ハくら表乃ら紙錦ハ
漬ハ略乃ハしらを
ら表ハらハよハ紙句ハ付
ぬ表乃ハ雲ら表ハの

[illegible]

就雪山

新式云、雪山数の神仕就雪巖雪嶺雪

林木山数種物よ元ハ雪を
用ひ雪を雪と称ふ近来ハ
人々稀なるゆへ一般なきを細
なるく雪ひろしとなり
うへハ未代ともも山数よあら
すしと心ひろふ

わすれ草

難し就を法
てハ雪しひ事

不和俳乃人曾て不知故
云物ハ和よ乃字よ二句去
ゆしう字ハ乃字よ二句去
萱草よしう字ハ二句と云へ
[illegible]

[illegible]
和訓ハ[illegible]
句端ハ[illegible]
るゆしひ萱草の異性人の
憂なをしく[illegible]
独ある毎ゆ[illegible]
[illegible]
[illegible]の人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

流れをそらくいかしと日むり
紙文あるものい拳去の
渕乃玉尾うあるといふ
るの形ちとやうなやうなれい
うの形ちの山賊酒人も家をと
えるをあらあ中小物乃料
うまうへなるるいるの代りから
ちとあるの古今の哥を
きつく連歌俳諧よりう寺
よ元下のくうの所へさる細
ちゆめくとさくしく事し

和田乃原 海の形ちを俳
田乃字の付くもくの所しう
殺と原字のいこの句去
あり

[illegible] 張し川あい張
乃川あい張し川辺の波し
あるとして張
わさ田 えもものく張しあり
そうなし

[illegible] 高き高き
久雑うの所ちの形乃字よ
こ句し又意乃ちこいの
行ちの句あるこ歌の字
ホ二句略し
[illegible] ちこえ日うい
あうす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たとへば雑しきことを
めんとて付くもくるしう
なき事歟とてきくことあんて
きくもたんとまはさ
たとへば同じ綿
もめん同じ綿
くるしう付くも
蜜の綿ふ付くわして
まこと新しきを
みゑふしわをへ
めんとゑ付くまて綿と
合ての句を付くもく
日ふまこと付くもく
ふしくるし新しく

加

助字 動よりゆるす
ひらふとく今一あり懐紙の
とへくと新式よりあるとい
ふいかも連歌乃あるとい
まるまてい式乃文字二
句を成句
付句 連歌ハ一句なれ
ハ二句をへし和
歌乃形ちまた乃句なれ
連歌と俳諧ハ文字の成
ちう強ふ句ハ句ハ神をへ二
下句をへ句をへくとも
し但一ハうきを句をこ一ハ
ちくとまを

[illegible]

[illegible]

鳥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

去程乃内うんとなりよ濃
毎ゝ句今一入くゝ心とは乃
相ゝ浦ゝ濃ゝくゝ秋越海よ
行くゝもゝくゝぬをもゝ去うへ
つゝ行るゝもゝゝくゝ京乃毛よ
ハ海老をゝなよおせゝも連
潮よハ去ゝ波ゝ腹ゝ行うん去
海つゝのゝうゝのゝうゝ乃ゝも去よ
るゝうゝへうゝのゝうゝ乃ゝも去よ
腹ゝ京ゝうゝハをゝくゝ海乃ゝも
去程へゝるゝ乃ゝ句神ゝゝゝ
つゝう孫ゝくゝゝハ二ゝゝゝ二ゝゝう
う孫ゝ去ゝをゝゝくゝハ二ゝゝ一ゝ乃ゝ
ゝゝ乃ゝをゝゝるゝ乃ゝ京ゝ乃ゝ去ゝ
ゝゝ乃ゝ腹ゝ行ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ海ゝ行ゝ去ゝ生ゝ数ゝ
四乃ゝ乃ゝ海ゝ行ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ
海ゝ去ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ乃ゝハ生ゝ数ゝ
ゝ乃ゝ句神ゝ乃ゝ海ゝ行ゝ去ゝ
乃ゝ去ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ乃ゝ腹ゝ
海ゝ行ゝ海ゝ行ゝ海ゝ行ゝ海ゝ
ゝゝ一ゝ数ゝ乃ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ
海ゝ行ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ乃ゝ海ゝ
ゝゝ海ゝ乃

杜[illegible]

恒 二神恒[illegible]

[illegible]

[illegible]

歌はれ[illegible]
し[illegible]は[illegible]式[illegible]
[illegible]日の[illegible]
[illegible]
[illegible]

小まち神主の
し神官の
はあり
乃相
と世
さて
神の
神の
三日
白乃
上げ
げを
はい
げを
あり
乃流
今く
待

鶯の一小鶯の一歌
小一鶯の
待の乃役乃事し
鶯通るし
の一物を
の
文字
と物
し物
乃の
望を

とあまてし洲浦ゝの面を絶
句一句の縁ゝの紅葉ゝの色
歎をゝ所ゝ所ゝあらはすゝ面
花の葉をゝ初めのゝ事ゝ哀れ
と特四乃あしさ捨てもむ
凡紅葉凡んゝ事ゝ世ゝく
色歎をゝゝ所ゝ所ゝ小倉ゝ
ゝ句ゝ句ゝしゝ面を始へ
さるゝくゝ久ゝ宮もんもゝし
まゝし二句は人なゝ歎ゝあや
ゝ秋ゝを西ゝ所ゝ家たゝ年
小八不審あゝへゝし組ゝ
雅乃家一と乃二句ゝ面ゝ
よゝゝゝさゝこゝゝれゝゝ
くゝもゝゝゝゝ詠へゝゝゝ
九ゝゝゝ乃ゝ乃ゝ面を

三十五

美雪ゝ出羽ゝ家ゝ初ゝ
衣ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
小一句ゝゝゝゝゝゝゝ
よゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
雪ゝの懐紙来ゝよゝあゝ寸ゝ
紅のゝゝ場或ハ法師おゝ或ハ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鐘　兵一八和一名武乃波[illegible]
[illegible]
[illegible]

久くゝ山と四句まるゝへし彩
武良よ四句の拍子なれども
を伐重ゝのよゝ三句はゝゝへ
ゝ飛潜ゝ山の四句をゝ
縣乃数ゝ数ゝ数くゝゝゝゝ
あゝゝゝの撞二ゝゝへ

撞ゝ守ゝ

しゝ中はゝゝゝ称
ゝゝ映撞のゝゝ
物合のゝゝ
弦寸ゝゝ
を宣乃乃
ゝ新武ゝ
あゝゝ
のゝゝ

新ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

霧を

新小法　打紙を新法乃
うたれ免紙ふとつく二句を
新乃々家ふときこえ

法のうけとるハ　山うけ未
たこうけふ乃
とうふを月日のうけ人々家
為の勅く新し又々家と云
八幡々家と云字のうまと
ゝも法のうも新乃うけ
うと二句をしたし
ゝハ幡へうすうけと云
も家の字ふと人乃々家

京清京時ふ乃京ふいも
とゝゝゝゝ神結くもを
ゝゝ法のうけよ若
招招招二句を未乃
招ふきゝ

うゝんよ　ゝる二句を
新も二句ゝゝ
記念と書くもゝこと
積ゆへゝゝあハ一切不絶
ゝ

うゝ乳ゝみ乳ふ
ゝゝの字文ゝきゝ
うゝ神を志ゝ
ゝゝふゝゝハゝ

もも同じ

くさんぶ 二月上申日より
らんくさこうの
同じ

粽 ちまき 紅葉ぶ 杉の葉を巻へ
粽 ちまき 西を巻へ

河骨乃面 かこつの面と澄物
ぶ二句あり

七句さし

無糖 あまつ 二句 無乃字より
なし

葛湯 山と水を煮詰
山椒入り

三月祭ぶ 十一月よりあれた
物の祭を正しくなる
さし

三日ぶ いく日みくのうり
三句さし 三字日
乃字はきくなる

祇祭 あし大神すの宮
月よりあれたくの
あくし祇の公を行くり
祭はさて而こよりくく
さ者ゆに成し

菖蒲さうぶ やう彩し
菖蒲よりくく物もるう
まきを理みくやう

の名まハ柏乃事ハ大切なる
ゆへ柏よりかつらのなるより
ちう神ちう人ものうも二句
始へし枝末葉より取くう
へものかちうん事をとくあ
柏ありみうやうよ事ハ紙柏く
うへ柏よりすもものあり色よ
さ宗匠のちうとくうしよりとく
事和俗乃人名合点ゆるあ
事しうかうや枝くうやく形
ちを出角

柏醤 みそちうとくうと醤といふ
も色醤のあるの色
醤柏野より柏をはつし柏醤
乃事和くうを神乃く事ハ取
くうハ久事るなとむもくハ

くくくくハ柏醤より出事及
ちくく結入くくも枝く
柏醤 柏柏より二句始へくと
たち醤ハ事ハをむと
ひくくもみくくのくくもたい
柏 雑ちくくくハ定いふこのよう
ちくくくハ落雑く玉
柏二種あり柏花紙ハあく
玉柏といのハ今一種ハ藻よ
うくうハ玉むうハ定て漬う
くくハ乃ちくく水のくハ
ひふくく柏乃葉くあようけ
て古ちをくハ乃ちくく三角う
くハ縄くハ種くのよく

あり拍子をうつ拍子
あるは脇のあるを拍子
をうつをとゝめ拍子
をうつ八拍子傷乃吳名
あるを拍子二句始へし
うしはあんあるをいはうへ拍
ふをうつ拍子拍子名ゝ
拍子あるをうつやうに拍子
乃うしはあれをうへく跳よ
ハ句もるへさ欠拍子
ゆく家く唐乃文字もく
ゆくへを拍乃字なるく
連のハ七句跳ハ文句跳よ
文句去るもをへさ事なり
跳拍子拍子ちゆ拍子古人
跳句跳拍家連ハ一座二句
きうをうへもゆ跳よ
里よりく拍子
拍子拍子一ゆくるへさ欠
拍子拍子のゆ跳家連よ
きうるへなるし拍ちるち
ゆくし文字拍子拍子拍子
傳事ゆうやうの文盤本
乃文ハゆし跳式よ拍ハ雜
とあり家頭乃ゆ乃文
よりさゆ本よあるをしう
ゆうは乃書よるもう見おされ
ゆるやうやうの形ゆ既よ
海道よ歳寒後知拍
後刷しとゆ拍書をも
いゆをゆ去まて無のあく

[illegible]ふ[illegible]のもの[illegible]り紅
葉をかもの[illegible]のとハ[illegible]ぬを
ちるを秋といふ[illegible]ひらるゝまよ
あるをといふ[illegible]を清[illegible]
能知[illegible]る人[illegible]弱[illegible]へし
為古[illegible]るに秋ちるよ
[illegible]あ[illegible]いふ[illegible]の文
あり[illegible]秋[illegible]をへしをそよ
歌[illegible]ハ醫書よハ[illegible]
[illegible]れ[illegible]日む[illegible]
山吹よ[illegible]順[illegible]
やまぶき[illegible]俗あり今
し國の人[illegible]中[illegible]ハ[illegible]よ
紅葉しく[illegible]
し[illegible]よ[illegible]
[illegible]

[illegible]ふ[illegible]
[illegible]文を[illegible]
[illegible]さもの[illegible]

[illegible]ふ[illegible]彩[illegible]よ雑とあれ
[illegible]雑[illegible]
て[illegible]乃日の[illegible]
[illegible]夢の[illegible]
と眼[illegible]
[illegible]
今[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あまこハらんかうらふ雲し
生鮫し付雲を秋津とふ
し日かを雅津鴻とるく
ふ事ハ東國南北へひろく
西北南北へとゆくあとへ
ひ雲乃うしらを長へ伸く
色を坤へるゆうあ屋
な所國をれも秋津鴻と
ゆしさるふよりくゆ東西と
ゆる星蜻蛉も秋津もらん
ゆも清う家ゆる家ゆれ
も雑し付雲をう家ゆと
りふハらんかうハ鳥うすく高
雅清ひう清くもやく一面
まゆちうくゆとうしふハ

人家間より能さゆ湯巻の
おくくもう形くこゆりひり
てゆうう形うよう家ゆふと家
ふも漬清くゆ歩清うきゆふ
乃つとゆハ蜻蛉ハなく岩
かのうにゆうもの(ママ)しゆ
石火くくゆ石ちうちお火
乃光ゆうもうゆこあくへよ
もう物あれとうゆ合てう家
うふ乃石乃火ゆ光ゆもひ
清う家たうゆ網ハあり又和
列よ秋津雅うけうふ乃小
野とゆハふ一ふ二乃し
東雅とゆハふ乃も国雅
うくへの家乃ふゆ云清あ雅
もゆうもうもうふゆを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

それハあの世生数よりすの
数巻尖 新らし数巻尖
あらくひ数尖みを
あらくひ数尖みを
神楽 みくし新らし連よ一
句の拍子れ能よハ
星神示山神示及神示
今きをあらく及神示ハ及
乃きをしあら色し新らしハ
あしすえ新びよ星
くらふさ新らく源くふを
わをくハく神示の名今一
あくハし色も新らし神示
字よくく源くくふ相七句云
し神示器るくし二乃門
あり

すのふ 云乃字日乃字
くく源 注系くく源し

冠 連よ一句 謝よハ加冠ハ
云乃系云乃冠云乃と
とのよ徳くく今一句云こ
冠よ紙をくふひら利生を
ふひらるの字ハ対句と
らをくく源あらし巾
をくらる食をくるくハ
二句ハくさ紙門乃ふさハ
冠系くくけく三句云ハ
ふさの中あくハ対く
もくくし源冠と衣
数よあくすす冠よ云乃緒
りしくさん巾 岩新

付くハ[illegible]
しハさ[illegible]
ふわ[illegible]す

祢宗の[illegible]

[illegible]
わ[illegible]
[illegible]
[illegible]

て芸より用ゐる神しるまこ
新式乃文云あうくあい
るひ行らうゆうあらて下
ゝゝゝゝ代々すめ文をゝき
ゝすめ粕をいひすむうあと
八稼乃字よゝられをゝいさよ
もゝゝゝゝ代ゝゝもゝら
すと知へし云ゝよゝゝ
ゝゝひむゝるもゝゝとあり
ゝ新式のゝよゝゝゝ代義を
用乃ゝゝもを

次の字 ゝり粕よあゝ代々
白髮の事よあゝす迷惑し
蟬よ川乃字 付ゝもゝ
ゝゝゝ代ゝゝ

りゝゝゝゝ

痛疫痛の[illegible]紙も備[illegible]
[illegible]へて雑[illegible]家間[illegible]
執痛を治[illegible]備[illegible]
醫[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

顔 [illegible]
二句[illegible]

風[illegible]
[illegible]三句[illegible]

葡萄 [illegible]
[illegible]山[illegible]

[illegible]に[illegible]
句[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]二句[illegible]

龍井 [illegible]
[illegible]

河魚 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

貝 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃字も同おなじ[illegible]

首途[illegible]

連のもとく門は面をつ[illegible]

元長不よりあり今連は一

句の相あまたとも渉は句の

あけくれハ門いとるとく

[illegible]

[illegible]

門口乃[illegible]

乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃新[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行数 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かうし　うこうひのゝ二句
　　さいこうそれらあしぬ
うゝ雪うゝ花うゝ乃都鄙し
かんれい　むしろく数くゝみやこ
いゝ和歌句も物ひ
もきこうもしゝ句の句のあけを
乃和歌をゝ句
ゝゝ二ほくゝゝ乃うゝ人
ゝゝ　ゝゝ和人編者
ゝゝ　ゝゝ乃うゝ人
しゝ雪ゝゝゝ
ゝゝ如此者ゝゝ
此ゝ云此ゝ
ゝ都の樫ゝ
ゝゝくいゝゝ
此ゝ此ゝゝ
ゝゝ乃ゝゝゝ
ゝゝ乃ゝゝゝ
ゝゝ乃ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]